



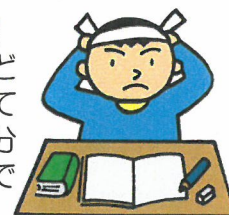
協・競・響

Tutti

トゥッティ

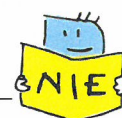
★学年末テストに向けて

2/2(火)～4(木)に、今年度最後の定期テストである学年末テストが計画されています。実力テストと違い、定期テストですから、どの教科もほとんど指定された範囲の中から出題されます。ということは、どれだけ時間をかけて誠実にテスト勉強に取り組んだかが、答案に反映されやすいと言えます。自分自身が納得のいく結果を得るために、全ての教科の学習にしっかり取り組んでテストに臨みましょう。



★NIE「教育に新聞を」

1月の課題は、再生可能エネルギーに関する記事でした。(裏面参照)



私は、6つの「R」を意識した取組をすべきだと思います。6つの「R」とは、「リサイクル」(再資源化する)「リデュース」(発生を抑制する)「リユース」(再使用する)「リフューズ」(受け取らない)「リターン」(回収する)「リカバー」(回復する)という取組のことです。一人一人がゴミをきちんと分別したり、マイバッグやマイボトルを持ったり、詰め替え商品を買ったりなどの小さな優しさを意識すれば、大きな優しさであふれた地球の未来が待っているのではないのでしょうか。
(1組 増田 彩羽)

私は、身近なところの節電をするといいと思います。移動教室の時に、帰ってきて電気がつきっぱなしということがあって、そういった必要のない電気をつけないようにしようと思うことがあります。みんなが家でも心がければ、けっこうムダな電気を使わないと思います。
(2組 平屋 詩織)

プラスチック製のゴミ袋をあまり使わずに、エコバッグや紙袋などを使うようにしたり、バスや自動車、タクシーなどを使わずに、エコカーや水素で動く自動車、自転車などを利用していかなければならないと思う。
(3組 大川 小春)

2050年に、再生可能エネルギーを主力電源として導入していくために、私たち中学生にできることは、毎日使っている電気や水の節約だと思います。これなら暮らしの中で簡単にできます。また、エネルギーについて考えることのできるイベントが鹿児島でも開催されているので、周りの人にも教えて積極的に参加して、エネルギーについて学ぶことも大切だと思います。
(4組 野村 日菜乃)

30年後の地球の未来のために私にできることは、二酸化炭素をなるべく排出しないことです。二酸化炭素を排出してしまうと、たくさんの問題の原因になってしまうからです。だから、私は地球の未来のために、二酸化炭素を排出しないように、自転車や徒歩で移動できる範囲は車などを使わないという簡単なことから始めていこうと思います。
(5組 宮下 心)

僕たちができることは、持続可能な社会を継続させることだと思います。政府が発令したビニール袋の有料化や電気自動車の推進など、これからも積極的にやってほしいと思います。できるだけ今ある資源を大切に、未来につなげていくことが大切だと思います。
(6組 宝蔵 僚太)